I-O DATA

MOドライブ

― MOC-Hシリーズ ―

取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

135263-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
8) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
9) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
10) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
13) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windowsは米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- Macintosh, Macは米国Apple Computer,Inc.の登録商標です。
- RINGOWINは富士通株式会社の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

もくじ

もくじ..... 1
お読みになる前に..... 3
必ずお守りください..... 4

はじめに **11**

箱の中には..... 12
動作環境 13
各部の名称・機能..... 14
添付品を取り付けよう..... 16

Windowsで使う **17**

使えるようにしよう 18
確認しよう..... 21
基本操作について..... 22

Mac OS 9で使う **29**

使えるようにしよう 30
確認しよう..... 31
基本操作について..... 32

Mac OS Xで使う **37**

使えるようにしよう 38
確認しよう..... 39
基本操作について..... 40

付録 **47**

困った時には 48
権限変更 62
RINGOWIN LE 63
Windows Me/98とMac OSでのデータ交換 64
サポートソフトの削除 66
用語解説 70
仕様 71

お問い合わせ 72
修理について 73

お読みになる前に

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

呼び方

呼び方	意　味
本製品	MOC-Hシリーズ
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System, Microsoft® Windows® XP Professional Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System, Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System
Windows Me/98	Windows Me, Windows 98の総称
Windows	Windows XP, Windows 2000, Windows Me/98の総称
Mac OS 9	Mac OS 9.0.4～9.2.2
Mac OS X	Mac OS X 10.1～10.2.6
Mac OS	Mac OS 9, Mac OS Xの総称

マークの説明



注意
本製品を使う上で、注意するべきことが書かれています。



参考
本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan.　We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

警告および注意事項

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

△ この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）  「発火注意」を表す絵表示

⃠ この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）  「分解禁止」を表す絵表示

● この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）  「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告



本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。



煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



本製品を修理・改造・分解しないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因となります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。



本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因となります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因となります。



本製品の取り付け・取り外しの際は、必ず本書で方法をご確認ください。

間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。



本体を濡らさないでください。

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。



濡れた手で本製品を扱わないでください。

感電や、本製品の故障の原因となります。



ACアダプタについては以下にご注意ください。

●必ず指定のACアダプタを使用してください。
●コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
●ACアダプタをACコンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。コードを引っ張ると、断線または短絡して、火災および感電の原因となることがあります。
●ACアダプタは、濡れた手でACコンセントに接続したり、抜いたりしないでください。感電の原因となります。
●ACアダプタがACコンセントに接続されているときには濡れた手でパソコン本体に触らないでください。感電の原因となります。
●ACアダプタにものを乗せたり、かぶせたりしないでください。
●保温・保湿性の高いものの近くで使用しないでください。
（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）
●本製品を長時間使わない場合は、ACアダプタを電源から抜いてください。
ACアダプタを長時間接続していると、電力消費・発熱します。



内部をのぞきこまないでください。

内部のレーザー光線を直視すると視覚障害を起こす恐れがあります。

⚠ 注意



本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

ハードディスクや MO ディスクは消耗品です。
故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。



本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。

故障の原因となることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_xなど）
- ●静電気の影響の強い場所

≪使用時のみの制限≫

- ●保温、保湿性の高いものの近く（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）
- ●製品に通気孔がある場合は、通気孔がふさがるような場所



イジェクトボタンの点滅中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。

故障の原因となったり、データが消失するおそれがあります。



本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない
- ●本製品内部およびコネクタ部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。



本製品のコネクタ部分には触れないでください。

コネクタ部分に触れると静電気により、本製品が破壊されるおそれがあります。



本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。

- ●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
- ●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
- ●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。



本製品を結露させたまま使わないでください。

時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。
本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、表面・内部が結露する場合があります。
そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。



動作中にケーブルを激しく動かさないでください。

接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因となることがあります。

使用上のご注意

●本製品はパソコンのサスペンド、スタンバイ、スリープなどの省電力モードには対応しておりません。

本製品を接続中にそれらのモードになった場合は、復帰後いったん本製品をUSBポートから抜き、再度接続してください。

●本製品からOSは起動できません。

本製品からのOS起動はサポートされておりません。

●本製品を長時間、連続で使わないでください。

本製品内部は書き込み時、かなり高温になります。そのため長時間、MOディスクのフォーマットや書き込み作業を行うと、本製品の安全装置が働き、処理が中断されてしまう場合があります。
このような場合は、本製品を取り外して電源を切り、本製品をしばらく放置して冷やしてください。その後、中断された処理を再び行ってください。

●ケーブルは、コネクタを持って取り外してください。

ケーブルを取り外すときは、ケーブル部分ではなく、コネクタを持って取り外してください。

●ラジオやテレビジョン受信機に近接して使用しないでください。

●他のUSB機器を使う場合は、下記に注意してください。

・本製品の転送速度が遅くなることがあります。

・本製品をUSBハブに接続しても使えないことがあります。
その場合は、パソコンのUSBポートに接続してください。

●MOディスクを取り扱うときは、下記に注意してください。

・MOディスク内部に直接触れないでください。

MOディスクが故障する原因となります。

・MOディスクのシャッターにラベルを貼らないでください。

本製品、MOディスクが故障する原因となります。

・ラベルを2重3重に重ねて貼らないでください。

本製品内部ではがれ、故障の原因となります。

●640Mバイト以上のMOディスクを圧縮ドライブとして使わないでください。

●MOディスクに「ディスクコピー」を使わないでください。

Windowsの「ディスクのコピー」は、MOディスクに対応していません。エラーメッセージが表示されたり、パソコンが動かなくなります。

●MOディスクの読み書き中は、下記に注意してください。

・MOディスクを取り出したり、パソコンや本製品の電源を切らないでください。

記録されたファイルの読み書きができなくなったり、MOディスクが傷つき、使えなくなる場合があります。

はじめに

箱の中には …… 12

箱の中のものを確認します。

動作環境 …… 13

本製品を使うことができるパソコン環境を説明します。

各部の名称・機能 …… 14

コネクタなどの名前と機能を説明します。

添付品を取り付けよう …… 16

添付品を取り付ける方法を説明します。

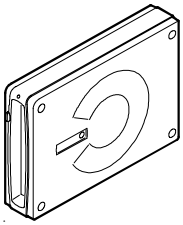
箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。

☐ にチェックをつけながら、ご確認ください。

万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

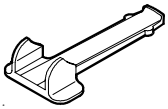
☐ **MOドライブ(１台)** [MOC-Hシリーズ]



☐ **ゴム足**



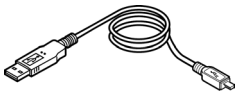
☐ **縦置きスタンド**



☑ **MOC-Hシリーズ取扱説明書(１冊)**
[本書]

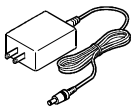
☐ **ハードウェア保証書(１枚)**

☐ **USBケーブル(１本)** [約1m]



☐ **USB バスパワーケーブル**
(挑戦者ブランド「USBW-DC」)
※ 本ケーブルはサポート対象外となっています。

☐ **ACアダプタ**



☐ **イジェクトピン(１本)**



☐ **MOC-Hシリーズサポートソフト**
(１枚) [CD-ROM]

参考

箱・梱包材は
大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

イラストについて
実物と若干異なる場合があります。

ユーザー登録・サポートソフトのダウンロードについて

▼ここに本製品の製造番号をメモしてください。

製造番号は本製品の底面に貼られているシールに印字されている12桁の英数字です。(例 : ABC0987654ZX)
製造番号は、ユーザー登録の際に必要です。
また、弊社ホームページよりサポートソフトをダウンロードする際にも必要な場合があります。
●ユーザー登録　⇒http://www.iodata.jp/regist/
●サポートソフトのダウンロード⇒http://www.iodata.jp/lib/

動作環境

対応機種および対応OS

次の条件を満たすこと

・USBポートを搭載した機種
（USBインターフェイスボードを搭載した機種を含む）

・サポートソフトのインストール時にCD-ROMドライブがあること

対応機種	対応OS（日本語版のみ）
PC98-NXシリーズ DOS/Vマシン※1※2	Windows XP, Windows 2000, Windows Me, Windows 98 SE, Windows 98
Macintoshシリーズ	Mac OS 9.0.4～9.2.2 Mac OS X 10.1～10.2.6

※1 弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認をしています。

※2 COMPAQ社製 PRESARIO 3566/3567/3576/3581/3590では、パソコンのBIOSアップデートが必要です。
詳しくは、コンパック プレサリオ サポートセンターにお問い合わせください。

参考

USBハブに本製品を接続する場合

電源コンセントに接続していないUSBハブ（バスパワーハブ）では、本製品を使えません。
パソコンのUSBポートに接続してお使いください。

注意

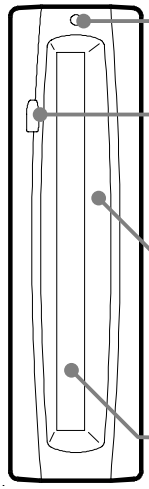
本製品をサスペンド、スタンバイ、スリープなどの省電力モードへ移行する環境で使用する場合

本製品は省電力モードには対応しておりません。省電力モードの設定は無効にしてお使いください。

各部の名称・機能

コネクタなどの名前と機能を説明します。

前面



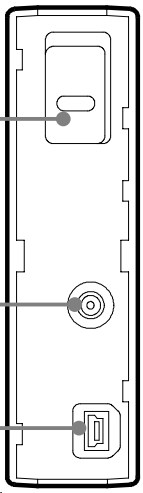
電源ランプ
電源が入ると、緑色に点灯します。

アクセスランプ・イジェクトボタン
読み書き中は緑色に点灯します。
これを押すと、Mac OSでお使いの場合を除いてMOディスクを取り出せます。
絶対に、点灯中には押さないでください。

強制イジェクトホール
MOディスクを強制的に取り出します。
通常は使わないでください。
【MOディスクを取り出せない】
(51ページ)をご覧ください。

MOディスク挿入口
MOディスクを挿入するところです。

背面

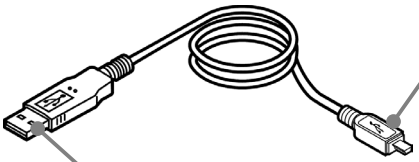


電源スイッチ
本製品の電源を入れます。
（上側：ON　　下側：OFF）

DC端子
ACアダプタを接続します。

USBポート
添付のUSBケーブルを接続します。

USBケーブル



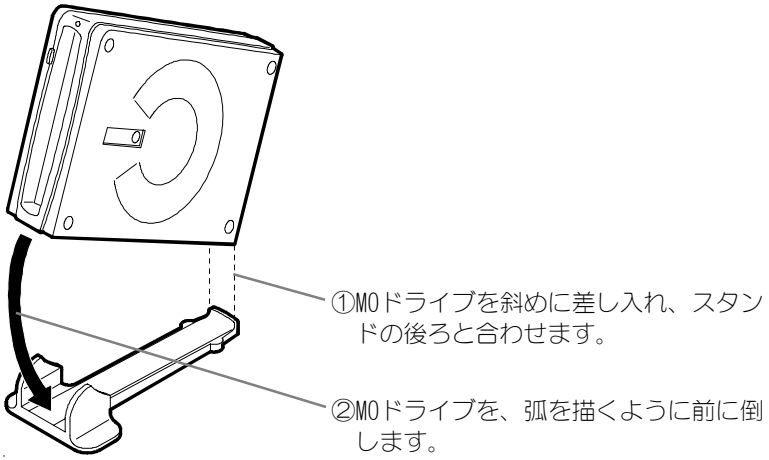
USB mini-Bコネクタ
MOドライブのUSBポートに接続します。

USB Aコネクタ
パソコン側のUSBポートに接続します。

添付品を取り付けよう

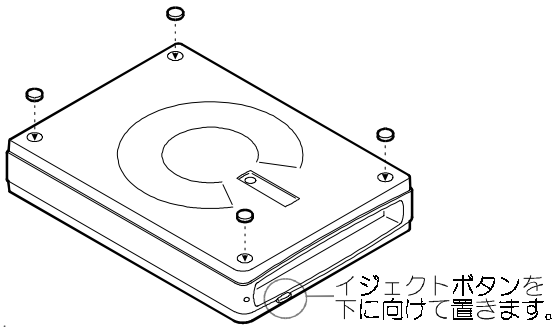
添付品の取り付けについて説明します。

縦置きで使う　～スタンドの取り付け～



横置きで使う　～ゴム足の取り付け～

本製品を安定した場所にイジェクトボタンが下になるようにして置き、４個所にゴム足を取り付けます。取り付けた後は、ゴム足を下にして置いてください。



Windowsで使う

使えるようにしよう ・・・・・・・・・・・・・・・１８

本製品を使えるようにします。

確認しよう ・・・・・・・・・・・・・・・２１

本製品が使えるようになったか確認します。

基本操作について ・・・・・・・・・・・・・・・２２

本製品を使う上での操作について説明します。

使えるようにしよう

はじめて本製品を接続する際の手順について説明します。

1 パソコンの電源を入れます。

参考

Windows XPとWindows 2000の場合

コンピュータの管理者(Administrator)グループに属するユーザーでログオンしてください。

サポートソフトのインストール

2 MOC-Hシリーズサポートソフトを CD-ROMドライブに入れます。

⇒自動的にCDメニューが表示されます。

参考

自動的にCDメニューが表示されない

① 「マイコンピュータ」を開きます。

② [MOCH_xxx] → [AUTORUN] の順にダブルクリックします。

※ xxxには数字（バージョン）が入ります。

順にダブルクリック



3 Windows Me/98は [MOC-Hシリーズ用ドライバ] をクリックします。

画面の指示に従って、作業を行ってください。

作業が終わりましたら、再起動を行ってください。

再起動が終わりましたら、もう一度CDメニューを開いてから次の手順に進んでください。

4 ［MOソフトウェア］ボタンをクリックします。

画面の指示に従って、作業を行ってください。
作業が終わりましたら、再起動を行ってください。
再起動が終わりましたら、次の手順に進んでください。

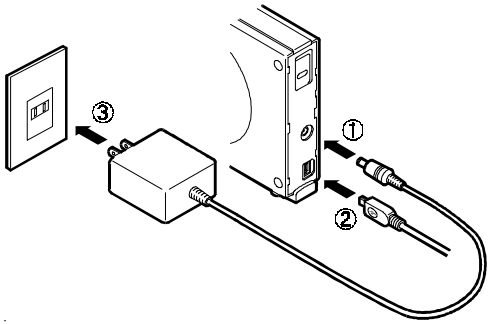


以上で、インストールは完了です。

パソコンへの取り付け

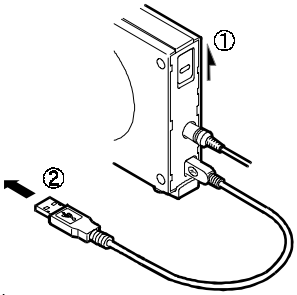
5 添付のUSBケーブル、ACアダプタを本製品に接続します。

①MOドライブに、添付のACアダプタを接続します。
②「USBケーブルのUSBコネクタ（miniBコネクタ）」を、「MOドライブのUSBポート」にまっすぐに接続します。
③ACアダプタを電源コンセントに接続します。



6 USBケーブルのもう一方をパソコンのUSBポートに接続します。

①電源スイッチを「ON」にします。
⇒電源ランプが点灯します。
②「USBケーブルのUSBコネクタ（Aコネクタ）」をパソコンのUSBポートにまっすぐに接続します。
USBポートの場所については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。



注意

「新しいハードウェア」画面が表示されたまま消えない
［キャンセル］ボタンをクリックし、本製品をUSBポートから取り外します。
その後、再び【使えるようにしよう】(18ページ)から作業を行ってください。

次は、正しく取り付けできたか確認します。

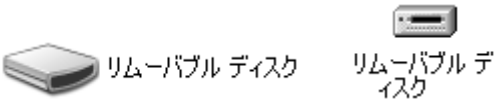
確認しよう

本製品が使えるようになったか確認します。

MOディスクのアイコンを確認します。

［マイコンピュータ］の中に［リムーバブルディスク］アイコンがあることを確認します。

⇒これが本製品のアイコンです。



アイコンの表示があれば、本製品は正常に認識されています。

注意

［リムーバブルディスク］アイコンがない

【本製品のアイコンが表示されない】(50ページ)をご覧ください。

参考

［光磁気ドライブ］などのアイコンになる

環境によっては、他のアイコンで表示されることがあります。
なお、他のアイコンで表示されても、正常に動作します。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
本製品を接続する	本ページ
パソコンを終了して本製品を取り外す	
パソコンを終了しないで本製品を取り外す	次ページ
MOディスクの操作	25ページ
MOディスクをフォーマットする	26ページ

本製品を接続する

パソコンの電源が入っていても本製品を接続できます。

1 本製品の電源を入れます。

2 本製品をUSBポートに接続します。

参考

USBポートに接続しても認識されない場合

他のUSBポートに接続してみてください。

パソコンを終了して本製品を取り外す

1 本製品からMOディスクを取り出します。

操作は、【MOディスクを取り出す】(25ページ)をご覧ください。

2 Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。

3 本製品の電源を切ります。

①電源スイッチを「OFF」側に動かします。

②電源ランプが消えたことを確認します。

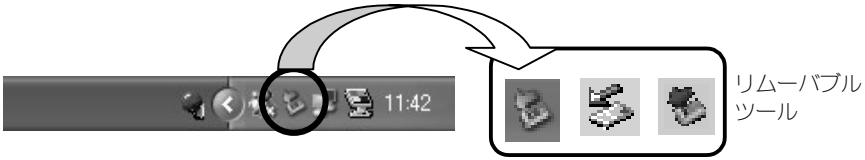
この状態でパソコンから取り外すことができます。

パソコンを終了しないで本製品を取り外す

1 本製品からMOディスクを取り出します。

操作は、【MOディスクを取り出す】(25ページ)をご覧ください。

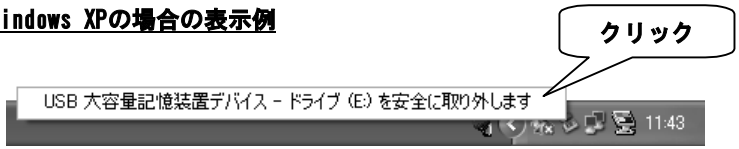
2 タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。



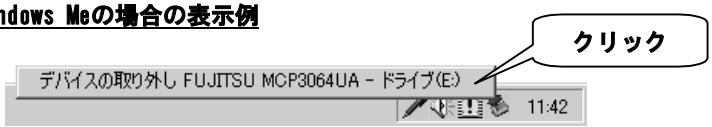
3 本製品の表示をクリックします。

複数の取り外し可能な機器を接続している場合は、ドライブ文字で判断してください。

Windows XPの場合の表示例



Windows Meの場合の表示例



Windows 98での本製品の表示

「デバイスの取り外し FUJITSU MCx3xxxUA-ドライブ (E:)」と表示されます。

※ xには英数字が入ります。

上記画面内の[FUJITSU MCP3064UA]は表示例です。

「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された

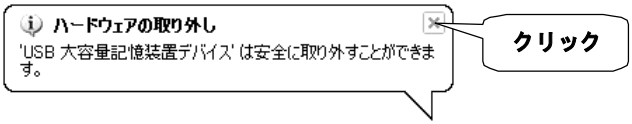
①使っているソフトウェアを全て終了します。

②本手順を行います。

※同じメッセージが表示されたら、【パソコンを終了して本製品を取り外す】(22ページ)の手順を行ってください。

4 メッセージを確認します。

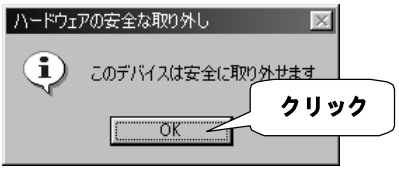
Windows XPの場合



Windows 2000の場合



Windows Me/98の場合



5 本製品の電源を切ります。

①電源スイッチを「OFF」側に動かします。
②電源ランプが消えたことを確認します。

この状態でパソコンから取り外すことができます。

MOディスクの操作

●MOディスクを挿入する

1 MOディスクを挿入します。

① MOディスクの表側をイジェクトボタンに向けます。
② MOディスク挿入口へまっすぐに挿入します。
その際、カチッと音がするまで押し込んでください。



MOディスクの金属部分を持たないでください
静電気が本製品内部に放電され、故障の原因となります。

2 イジェクトボタンが点滅後に点灯に戻ります。

●MOディスクを取り出す

1 イジェクトボタンが点滅していないことを確認します。

2 Windows上で［取り出し］を実行します。

本製品のアイコンを右クリックし、表示された［取り出し］をクリックします。
⇒自動的にMOディスクが出てきます。



MOディスクを取り出せない
【MOディスクを取り出せない】(51ページ)をご覧ください。

MOディスクをフォーマットする

注意

・新しいMOディスクを使用する際には、まずはフォーマットが必要です。
・フォーマットすると、データはすべて消去されます。
必要なデータがある場合は、先にハードディスクなどにバックアップをしてからフォーマットしてください。

注意

Windows XPの場合
コンピュータの管理者グループに属するユーザーのみフォーマットすることができます。
制限ユーザーがフォーマットするには【権限変更】（62ページ）をご覧になり。権限を[全てのユーザー]に変更してください。（権限変更はWindows XP Professionalでのみ可能です。）

注意

Windows 2000の場合
Administratorグループに属するユーザーのみフォーマットできます。
制限ユーザーがフォーマットするには【権限変更】（62ページ）をご覧になり、権限を[全てのユーザー]に変更してください。

1 本製品にMOディスクを挿入します。

参考

いきなり次ページの手順*4*の画面になることがあります。
その場合は、次ページの手順*4*にお進みください。

2 マイコンピュータを開きます。

Windows XPの場合

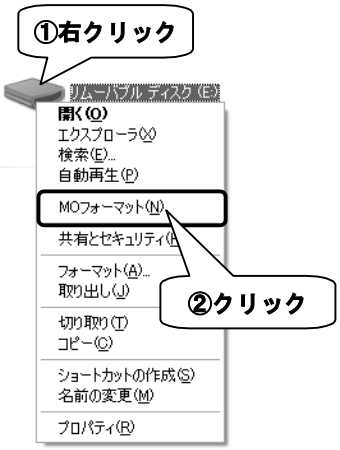
[スタート]→[マイコンピュータ]を順にクリックします。

Windows 2000/Me/98（SE含む）の場合

[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックします。

3 [MOフォーマット]を起動します。

［リムーバブルディスク］アイコンを右クリックし、表示された[MOフォーマット]をクリックします。



注意

[MOフォーマット]と[フォーマット]が同時に表示される場合

[MOフォーマット]をクリックしてください。

4 [MOフォーマット]内の設定後、[開始]ボタンをクリックします。



［MOフォーマット］ダイアログ内の設定について

●[フォーマット形式]では以下の２つから選択できます。
　・スーパーフロッピー形式
　・ハードディスク形式
　※ 通常は[スーパーフロッピー形式]を選択してください。
●[ファイルシステム]では以下の２つから選択できます。
　・FAT16
　・FAT32
　※ 通常は[FAT16]を選択してください。
●[ボリュームラベル]は必要に応じて入力してください。
●[物理フォーマット]は、一度フォーマットした事があるMOディスクで、その際に一部読み書きできない不良セクタができていた場合にチェックしてください。

5 ［はい］ボタンをクリックします。

⇒フォーマットが開始されます。

6 正常に終了したことを確認し、［OK］ボタンをクリックします。

7 ［閉じる］ボタンをクリックします。

フォーマット後は

フォーマット後のMOディスクは一度[スキャンディスク]をかけることをおすすめします。
①[マイコンピュータ]上の[リムーバブルディスク]アイコンを右クリックし、表示された[プロパティ]をクリックします。
②[ツール]タブを選択し、[チェックする]ボタンをクリックします。
③[開始]ボタンをクリックします。

以上で、MOディスクはフォーマットされました。

Mac OS 9で使う

使えるようにしよう …… 30

本製品を使えるようにします。

確認しよう …… 31

本製品が使えるようになったか確認します。

基本操作について …… 32

本製品を使う上での操作について説明します。

使えるようにしよう

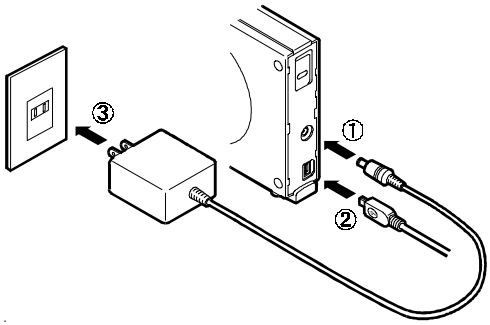
はじめて本製品を接続する際の手順について説明します。

1 パソコンの電源を入れます。

パソコンへの取り付け

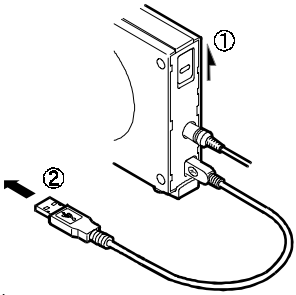
2 添付のUSBケーブル、ACアダプタを本製品に接続します。

①MOドライブに、添付のACアダプタを接続します。
②USBケーブルのUSBコネクタ（miniBコネクタ）を、MOドライブのUSBポートにまっすぐに接続します。
③ACアダプタを電源コンセントに接続します。



3 USBケーブルのもう一方をパソコンのUSBポートに接続します。

①電源スイッチを「ON」にします。
⇒電源ランプが点灯します。
②USBケーブルのUSBコネクタ（Aコネクタ）をパソコンのUSBポートにまっすぐに接続します。
USBポートの場所については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。



次は、正しく作業をできたか確認します。

確認しよう

本製品が使えるようになったか確認します。

1 本製品以外のUSBストレージ機器を全て取り外します。

参考

「ストレージ」とは？
ハードディスク、MOドライブなどの記憶装置のこと。

2 パソコンの電源を入れます。

パソコンの電源がすでに入っている場合は、次へお進みください。

3 本製品にMOディスクを挿入します。

参考

MOディスクが初期化されていない場合
初期化の画面が表示されます。
詳しくは、【MOディスクを初期化する】(34ページ)をご覧ください。

4 MOディスクのアイコンが表示される事を確認します。

デスクトップ上にMOディスクのアイコンが表示されます。



アイコンの表示があれば、本製品は正常に認識されています。

注意

アイコンがない
【本製品のアイコンが表示されない】(50ページ)をご覧ください。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
本製品を接続する	本ページ
パソコンを終了して本製品を取り外す	
パソコンを終了しないで本製品を取り外す	次ページ
MOディスクの操作	
MOディスクを初期化する	34ページ

本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても本製品を接続できます。

1 本製品の電源を入れます。

2 本製品をUSBポートに接続します。

参考

USBポートに接続しても認識されない場合

他のUSBポートに接続してみてください。

パソコンを終了して本製品を取り外す

1 本製品からMOディスクを取り出します。

操作は、【●MOディスクを取り出す】(42ページ)をご覧ください。

2 Mac OSを終了し、パソコンの電源を切ります。

3 本製品の電源を切ります。

①電源スイッチを「OFF」側に動かします。

②電源ランプが消えたことを確認します。

この状態でパソコンから取り外すことができます。

パソコンを終了しないで本製品を取り外す

参考

パソコンの電源を切っている時は、そのまま取り外せます
下の説明は、パソコンの電源が入っているときの作業です。

1 本製品からMOディスクを取り出します。

【MOディスクを取り出す】(次ページ)をご覧ください。

2 本製品の電源を切ります。

①電源スイッチを「OFF」側に動かします。
②電源ランプが消えたことを確認します。

この状態でパソコンから取り外すことができます。

MOディスクの操作

●MOディスクを挿入する

1 MOディスクを挿入します。

① MOディスクの表側をイジェクトボタンに向けます。
② MOディスク挿入口へまっすぐに挿入します。
その際、カチッと音がするまで押し込んでください。

注意

MOディスクの金属部分を持たないでください
静電気が本製品内部に放電され、故障の原因となります。

2 イジェクトボタンが点滅後に消灯します。

●MOディスクを取り出す

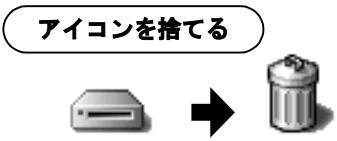
参考

イジェクトボタンは使えません
イジェクトボタンを押してもMOディスクは取り出せません。

1 イジェクトボタンが点滅していないことを確認します。

2 MOディスクのアイコンをごみ箱に捨てます。

⇒自動的にMOディスクが出てきます。



注意

MOディスクを取り出せない
【MOディスクを取り出せない】(51ページ)をご覧ください。

MOディスクを初期化する

MOディスクは、ご購入時にすでに初期化されている場合があります。
その場合は、初期化の必要はありません。

注意

初期化すると、データはすべて消去されます
MOディスクに必要なデータがある場合は、先にハードディスクなどにバックアップをしてから初期化してください。

参考

フォーマッタソフトについて
フォーマッタソフトによっては、USB機器に対応していないことがあります。ご注意ください。
（フォーマッタソフトで初期化されたMOディスクは問題無く使えます）

MOディスクに一部読み書きできない不良セクタができた場合
そのMOディスクを使わないでください。

1 本製品にMOディスクを挿入します。

⇒デスクトップにMOディスクのアイコンが表示されます。

注意

いきなり手順4 の画面になることがあります。
その場合は、次ページの手順4にお進みください。

2 MOディスクのアイコンをクリックします。

3 ［ディスクの初期化］をクリックします。

Finderメニューの［特別］をクリックし、表示された［ディスクの初期化］をクリックします。

※[装置の初期化]と表示されている場合がありますが、同様にクリックします。



4 初期化を行います。

①［名前］にMOディスクに付ける名称を入力します。

②［フォーマット］を選択します。

③［初期化］ボタンをクリックします。

⇒MOディスクの初期化が始まります。



初期化できない

【MOディスクを初期化できない】(56ページ)をご覧ください。

［フォーマット］の選択について

フォーマットには［Mac OS標準］を選ぶことをおすすめします。

本製品で初期化したMOディスクについて

Mac OS上で有効な他のMOドライブでも使えます。

ただし、このMOディスクからOSを起動することはできません。

DOS形式を選択して初期化したい場合

Windowsでフォーマットしてください。

DOS形式フォーマットのみ選択可能の場合

Windowsでフォーマットしてください。

Memo

Mac OS Xで使う

使えるようにしよう ・・・・・・・・・・・・・・・・３８

本製品を使えるようにします。

確認しよう ・・・・・・・・・・・・・・・・３９

本製品が使えるようになったか確認します。

基本操作について ・・・・・・・・・・・・・・・・４０

本製品を使う上での操作について説明します。

使えるようにしよう

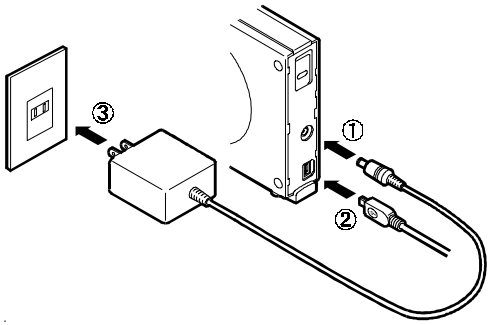
はじめて本製品を接続する際の手順について説明します。

1 パソコンの電源を入れます。

パソコンへの取り付け

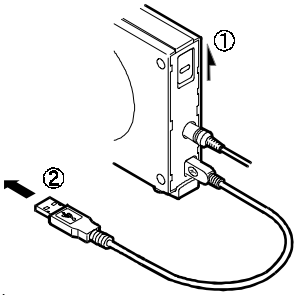
2 添付のUSBケーブル、ACアダプタを本製品に接続します。

①MOドライブに、添付のACアダプタを接続します。
②USBケーブルのUSBコネクタ（miniBコネクタ）を、MOドライブのUSBポートにまっすぐに接続します。
③ACアダプタを電源コンセントに接続します。



3 USBケーブルのもう一方をパソコンのUSBポートに接続します。

①電源スイッチを「ON」にします。
⇒電源ランプが点灯します。
②USBケーブルのUSBコネクタ（Aコネクタ）をパソコンのUSBポートにまっすぐに接続します。
USBポートの場所については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。



次は、正しく作業をできたか確認します。

確認しよう

本製品が使えるようになったか確認します。

1 本製品以外のUSB機器（キーボード、マウス除く）を全て取り外します。

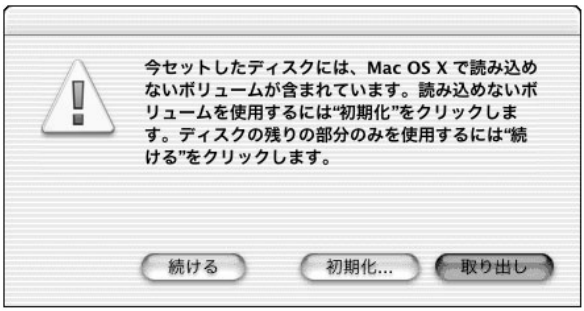
2 本製品にMOディスクを挿入します。

参考

いきなり以下の画面が表示されることがあります。

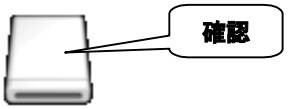
その場合は、[初期化]ボタンをクリックし、【MOディスクを初期化する】（42ページ）にお進みください。

MOディスクの初期化が終わったら、本手順を進めてください。



3 MOディスクのアイコンが表示される事を確認します。

デスクトップ上にMOディスクのアイコンが表示されます。



アイコンの表示があれば、本製品は正常に認識されています。

※ 手順2でMOディスクを挿入しないとアイコンは表示されません。

参考

アイコンがない

【本製品のアイコンが表示されない】（50ページ）をご覧ください。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
本製品を接続する	本ページ
パソコンを終了して本製品を取り外す	
パソコンを終了しないで本製品を取り外す	次ページ
MOディスクの操作	
MOディスクを初期化する	42ページ

本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても本製品を接続できます。

1 本製品の電源を入れます。

2 本製品をUSBポートに接続します。

参考

USBポートに接続しても認識されない場合
他のUSBポートに接続してみてください。

パソコンを終了して本製品を取り外す

1 本製品からMOディスクを取り出します。
操作は、【MOディスクを取り出す】(42ページ)をご覧ください。

2 Mac OSを終了し、パソコンの電源を切ります。

3 本製品の電源を切ります。
①電源スイッチを「OFF」側に動かします。
②電源ランプが消えたことを確認します。

この状態でパソコンから取り外すことができます。

パソコンを終了しないで本製品を取り外す

参考

パソコンの電源を切っている時は、そのまま取り外せます
下の説明は、パソコンの電源が入っているときの作業です。

1 本製品からMOディスクを取り出します。

【MOディスクを取り出す】(次ページ)をご覧ください。

2 本製品の電源を切ります。

①電源スイッチを「OFF」側に動かします。
②電源ランプが消えたことを確認します。

この状態でパソコンから取り外すことができます。

MOディスクの操作

●MOディスクを挿入する

参考

DOSフォーマットのMOディスク
下記の条件を満たす物のみお使いいただけます。
・540Mバイト以下の容量のMOディスク
・ボリュームラベルが半角英数字

1 MOディスクを挿入します。

① MOディスクの表側をイジェクトボタンに向けます。
② MOディスク挿入口へまっすぐに挿入します。
その際、カチッと音がするまで押し込んでください。

注意

MOディスクの金属部分を持たないでください
静電気が本製品内部に放電され、故障の原因となります。

2 イジェクトボタンが点滅後に消灯します。

●MOディスクを取り出す

イジェクトボタンは使えません
イジェクトボタンを押してもMOディスクは取り出せません。

1 イジェクトボタンが点滅していないことを確認します。

2 MOディスクのアイコンをごみ箱に捨てます。

⇒自動的にMOディスクが出てきます。



MOディスクを取り出せない
【MOディスクを取り出せない】(51ページ)をご覧ください。

MOディスクを初期化する

MOディスクは、ご購入時にすでに初期化されている場合があります。
その場合は、初期化の必要はありません。

初期化すると、データはすべて消去されます
MOディスクに必要なデータがある場合は、先にハードディスクなどにバックアップをしてから初期化してください。

フォーマッタソフトについて
フォーマッタソフトによっては、USB機器に対応していないことがあります。ご注意ください。
（フォーマッタソフトで初期化されたMOディスクは問題無く使えます）

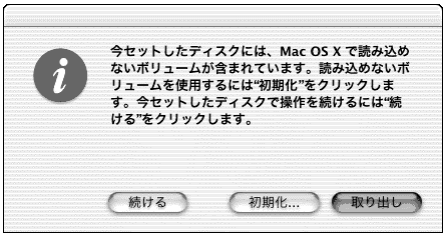
MOディスクに一部読み書きできない不良セクタができた場合
そのMOディスクを使わないでください。

1 本製品にMOディスクを挿入します。

⇒デスクトップにMOディスクのアイコンが表示されます。

いきなり下の画面が表示されることがあります。

その場合は、［初期化］ボタンをクリックし、手順**3**へお進みください。

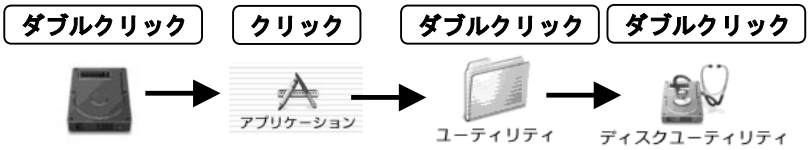


2 ［ディスクユーティリティ］を起動します。

①デスクトップ上の起動ボリュームのアイコンをダブルクリックします。

②ツールバーの［アプリケーション］ボタンをクリックします。

③[ユーティリティ]→[ディスクユーティリティ]を順にダブルクリックします。



3 本製品を選択し、[パーティション]タブをクリックします。



本製品を見分ける方法

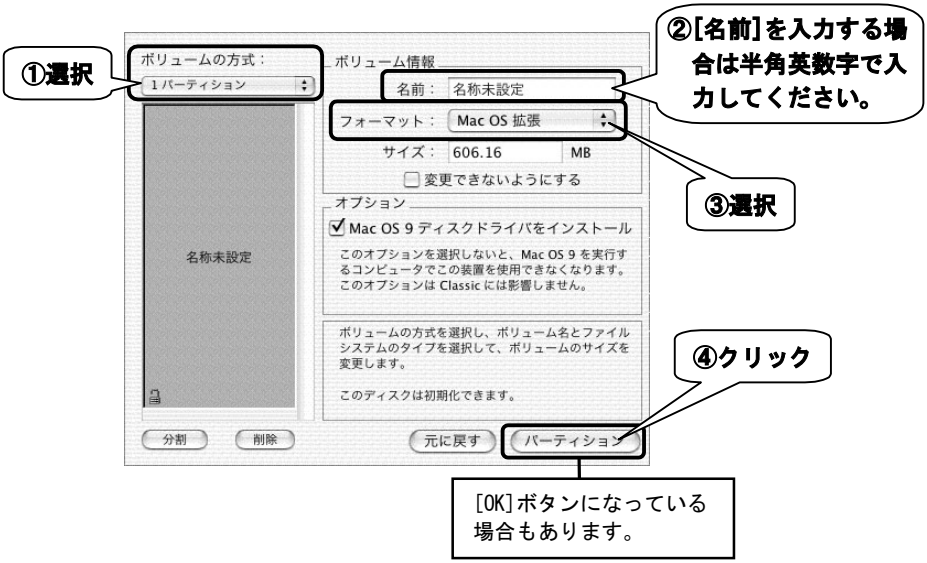
本製品を選択したとき、右の［情報］タブに下記のように表示されます。

ディスクの説明： FUJITSU MCx3xxxUA Media

※ xには英数字が入ります。

4 本製品に挿入されているMOディスクを初期化します。

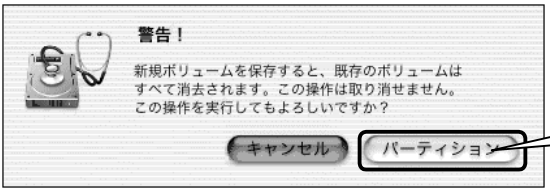
①［ボリュームの方式］で［１パーティション］を選択します。
※［現在の設定］は選択しないでください。
②[ボリューム情報]の[名前]を入力する場合は、半角英数字で入力します。
③［フォーマット］で［Mac OS拡張］を選択します。
④［パーティション］（または[OK]）ボタンをクリックします。本製品に挿入されているMOディスクを初期化します。



[UNIXファイルシステム] には設定しないでください
UNIXファイルシステムには対応しておりません。

5 ［パーティション］ボタンをクリックします。

⇒初期化が始まります。



以上で、MOディスクはフォーマットされました。

参考

本製品で初期化したMOディスクは

Mac OS上で有効な他のMOドライブでも使えます。

ただし、このMOディスクからOSを起動することはできません。

Memo

付録

困った時には ・・・・・・・・・・・・・・・４８

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

権限変更 ・・・・・・・・・・・・・・・６２

Windows XP, Windows 2000で権限を変更する方法について説明します。

RINGOWIN LE ・・・・・・・・・・・・・・・６３

「RINGOWIN LE」について説明します。

Windows Me/98とMac OSでのデータ交換 ・・・・・・・・・・・・・・・６４

Mac OSとWindows Me/98とでデータを交換する方法について説明しています。

サポートソフトの削除 ・・・・・・・・・・・・・・・６６

サポートソフトの削除方法を説明します。

用語解説 ・・・・・・・・・・・・・・・７０

本書内の用語を説明します。

仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・７１

本製品の仕様を説明します。

困った時には

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

共通のトラブル

MOディスクを読み書き中に他のUSB機器が認識されない	４９
本製品のアイコンが表示されない	５０
フォーマットや書き込み中に処理が中断される	
MOディスクを挿入しても反応がない	５１
MOディスクを取り出せない	
MOディスクにファイルの書き込みができない	５２
省電力モードからの復帰後、不安定になる	

Windows XP/2000でのトラブル

コンピュータの管理者(Administrator)グループに属さないユーザーで、MOディスクのフォーマットや取り出しできない	５３
NTFS形式のMOディスクを読み書きできない	５４
MOディスクへの書き込みが遅い(Windows XPのみ)	

Windows Me/98でのトラブル

ファイルの読み書きができない	５４
MOディスクにスキャンディスクを実行するとエラーが出る	５５
「MOフォーマット」が表示されない	

Mac OS 9でのトラブル

「タイプ -110エラー」のウィンドウが表示される	５６
640Mバイト以上のMOディスクを「検証」したらエラー報告された	
本製品に挿入したMOディスクからMac OSを起動できない	
MOディスクを初期化できない	
データの入ったMOディスクを入れても初期化ウィンドウが出る	５７
OS終了時に、MOディスクが自動的に取り出されない	

Mac OS Xでのトラブル

「Disk First Aid」で、突然「Disk Utility」が終了したり、意味不明な文字が表示されたり、エラーが発生する	５８
OSを起動しても、MOディスクが認識されない	

共通のトラブル

MOディスクを読み書き中に他のUSB機器が認識されない

原因 **本製品がUSBのデータ転送幅を全て使っている**

この場合すぐには、認識されません。MOディスクの読み書きが終わるまでお待ちください。

本製品のアイコンが表示されない

原因１ **「更新」されていない(Windowsのみ)**

［マイコンピュータ］の［表示］→［最新の情報に更新］をクリックしてください。

原因２ **MOディスクが挿入されていない(Mac OSのみ)**

MOディスクを挿入してください。(33, 41ページ参照)

原因３ **接続するUSBポートによっては認識されない**

接続するUSBポートを変えてください。特にUSBハブに接続している場合は、パソコンのUSBポートに変えてみてください。

原因４ **他のUSB機器がUSBのデータ転送幅を全て使っている（USBビデオキャプチャ製品が動作しているなど）**

この場合、すぐには認識されません。他のUSB機器の動作が終わってから、本製品をUSBポートに接続してください。

原因５ **ソフトウェアが正しくインストールされていない**

【サポートソフトの削除】(66ページ)をご覧になり削除した後、もう一度インストール(18ページ)してください。

原因６ **ドライブが割り当てられていない(Windows Me/98のみ)**

【ドライブ名の予約】(59ページ)をご覧ください。

フォーマットや書き込み中に処理が中断される

原因 **長時間使うことで高温になり、安全装置が働いた**

システムを終了してパソコンの電源を切り、MOドライブが冷えるまでしばらく放置してお待ちください。

MOディスクを挿入しても反応がない

原因１　他のUSB機器がUSBのデータ転送幅を全て使っている（USBビデオキャプチャ製品が動作しているなど）

この場合、すぐには認識されません。他のUSB機器の動作が終わってから、MOディスクを使えるようになります。

原因２　動作がおかしくなっている

他のUSB機器が動作していない場合、USBポートに接続している本製品を抜き挿ししてください。

MOディスクを取り出せない

原因１　パソコンの電源が入っていない

電源を入れたパソコンに接続した状態で、MOディスクを取り出してください。

原因２　機械的な故障や、その他の理由で取り出せない

添付のイジェクト・ピンを強制イジェクト・ホールに約20㎜ほど差し込むとイジェクトします。

※ これは、緊急時の操作です。
むやみに使うと故障の原因となります。
この操作で取り出せない場合は、無理に引き出さず、弊社修理センターにご依頼ください。

MOディスクにファイルの書き込みができない

原因１ MOディスクがライトプロテクトされている

MOディスクのライトプロテクトを解除してから、ファイルを書き込んでください。ライトプロテクトについては、MOディスクの説明をご覧ください。

原因２ ルートフォルダに置くことのできるファイル数を超えている

ルートフォルダ（MOディスクの一番上）に置くことのできるファイル（フォルダ）の数には制限があります。制限を超えると空き容量があってもエラーが表示され、書き込む事ができなくなります。その場合は、フォルダを作成し、その中にファイルを書き込んでください。フォルダが作成できない場合は、ファイルをいくつか削除した後、フォルダを作ってください。

省電力モードからの復帰後、不安定になる

原因 本製品はサスペンド、スタンバイ、スリープなどの省電力モードに対応していない

省電力モードは無効にしてお使いください。

Windows XP/2000でのトラブル

コンピュータの管理者(Administrator)グループに属さないユーザーで、MOディスクのフォーマットや取り出しできない

原因１ 権限が全てのユーザーにない

Windows標準設定では、コンピュータの管理者(Administrator)グループに属さないユーザーにてMOディスクのフォーマットや取り出しをすることはできません。

Windows XP Professional/2000の場合

【権限変更】(62ページ)をご覧になり、設定を「全てのユーザー」にしてください。

Windows XP Home Editionの場合

権限変更はできません。コンピュータの管理者グループに属するユーザーでお使いください。

原因２ 本製品を接続したまま起動していない

MOディスクをフォーマットしたり、取り出したい場合は、電源の入った本製品を、USBポートに接続した後でWindowsを起動してください。

参考

一度本製品を取り外すと

もう一度接続し直しても、フォーマットや取り出しはできなくなります。その場合、Windowsを再起動してください。

NTFS形式のMOディスクを読み書きできない

原因 **本製品では、NTFSのフォーマットは使えない**

本製品では、NTFS形式でフォーマットされたMOディスクはお使いいただけません。

MOディスクへの書き込みが遅い(Windows XPのみ)

原因 **パフォーマンスのための最適化が行われていない**

【パフォーマンスのための最適化】(60ページ)をご覧ください。

Windows Me/98でのトラブル

ファイルの読み書きができない

原因 **MOディスクのフォーマット形式が異なっている**

・MOディスク内のデータが必要ない場合は、【MOディスクをフォーマットする】(26ページ)の手順でフォーマットしてお使いください。(データは全て無くなります)

・Mac OSのフォーマット形式の場合は、Mac OS側でWindowsフォーマットのMOディスクを使ってデータを移してください。

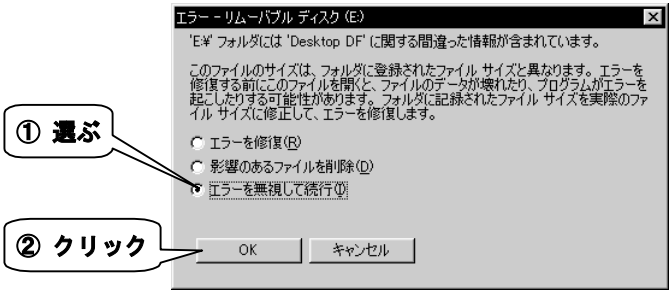
※ ただし、Mac OSでフォーマットしたMOディスクはWindowsでは認識できません。

MOディスクにスキャンディスクを実行するとエラーが出る

原因 **そのMOディスクを一度Macintoshで使っている**

一度、Mac上にマウントしたDOSフォーマット（スーパーフロッピー形式もしくはFDISK形式）のMOディスクをWindows 98上でスキャンディスクを実行した場合、次のようなエラーが表示される場合があります（ファイル「Desktop DF」は、Mac OS上で管理に必要な情報が含まれたファイルです）。

この場合は、「エラーを無視して続行」を選んでください。



「MOフォーマット」が表示されない

原因 **MOソフトウェアのインストールが正しく行われていないか、設定が正しくない**

［スタート］→［設定］→[コントロールパネル]→[アプリケーションの追加と削除]を起動し、［MOソフトウェア］があるかどうか、確認します。

無い場合は、もう一度【使えるようにしよう】(18ページ)を行います。

ある場合は、さらにその先の［MOフォーマットアシストの設定］をクリックし、「MOフォーマットアシストを有効」にします。

「MOフォーマットアシストを有効」になっていた場合は、【サポートソフトの削除】(66ページ)の作業を行い、その後、もう一度【使えるようにしよう】(18ページ)を行ってください。

Mac OS 9でのトラブル

「タイプ -110エラー」のウィンドウが表示される

原因 **DOSフォーマットのMOディスクを読み書きした**

MacintoshでDOSフォーマット（スーパーフロッピー形式もしくはFDISK形式）のMOディスクを読み書きしたときにタイプ-110エラーが出る場合があります。
このエラーはファイルのデータを破壊するものではありません。
表示された場合は、再度ファイル操作をやり直してください。

640Mバイト以上のMOディスクを「検証」したらエラー報告された

原因 **Mac OSの仕様のため**

エラーレポートが報告されても、問題なく使えます。

本製品に挿入したMOディスクからMac OSを起動できない

原因 **Mac OSの仕様のため**

Mac OSではUSB機器からの起動はできません。

MOディスクを初期化できない

原因 **AppleTalkが「使用」状態で、ファイル共有が「開始」されている**

この場合は、一時的に[Appleメニュー]-[セレクタ]を開き、AppleTalkを「不使用」にするか、[アップルメニュー]-[コントロールパネル]-[ファイル共有]コントロールパネルを開き、ファイル共有を「中止」にした上で初期化を行ってください。

データの入ったMOディスクを入れても初期化ウィンドウが出る

原因１　File Exchangeが「有効」になっていない

［Appleメニュー］→［コントロールパネル］→［機能拡張マネージャ］をクリックします。

「File Exchange」に「×」をつけて、再起動してください。



原因２　認識できないフォーマット形式である

そのMOディスクを読み出せる環境があれば、その環境でバックアップをし、その後、MOディスクを初期化しなおしてください。

OS終了時に、MOディスクが自動的に取り出されない

原因　機種によってMOディスクが取り出されないことがある

次回からは、MOディスクを取り出してからOSを終了・再起動してください。

Mac OS Xでのトラブル

「Disk First Aid」で、突然「Disk Utility」が終了したり、意味不明な文字が表示されたり、エラーが発生する

原因 **ボリューム（パーティション）の名前に、全角の日本語が使われている**

意味不明な文字が表示されるだけの場合は、動作に問題はありません。エラーが表示される場合は、半角英数字のみを使って名前を付けてください。

OSを起動しても、MOディスクが認識されない

原因 **MOディスクを入れたままOSを終了・再起動した**

本製品を一度パソコンから取り外してください。
その後で、本製品を接続してください。

また、MOディスクを取り出してからOSを終了・再起動してください。

ドライブ名の予約

これは、【本製品のアイコンが表示されない】(50ページ)の問題解決のための手順の１つです。

1 本製品以外の取り外し可能な機器を全て取り外します。

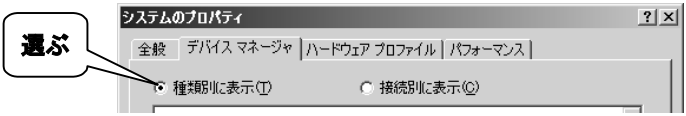
2 「デバイスマネージャ」を開きます。

① ［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

② ［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

3 ［種類別］の表示にします。

［種類別に表示］を選びます。



4 確認します。

① ［ディスクドライブ］の左にある⊞をクリックします。
⇒その下が表示されます。

② MOドライブのドライバをダブルクリックします。



参考

「MOドライブのドライバ」の表示

「FUJITSU MCx3xxxUA」と表示されます。

※ xには英数字が入ります。

5 ［設定］タブをクリックします。

6 「予約ドライブ文字」を設定します。

［開始ドライブ］と「終了ドライブ」に、使っていない同じドライブ名を入力します。

7 ［OK］ボタンをクリックします。

8 ［OK］ボタンをクリックします。

9 Windowsを再起動します。

パフォーマンスのための最適化

これは、【MOディスクへの書き込みが遅い(Windows XPのみ)】(54ページ)の問題解決のための手順の１つです。

1 「マイコンピュータ」を開きます。

［スタート］→［マイコンピュータ］の順にクリックします。

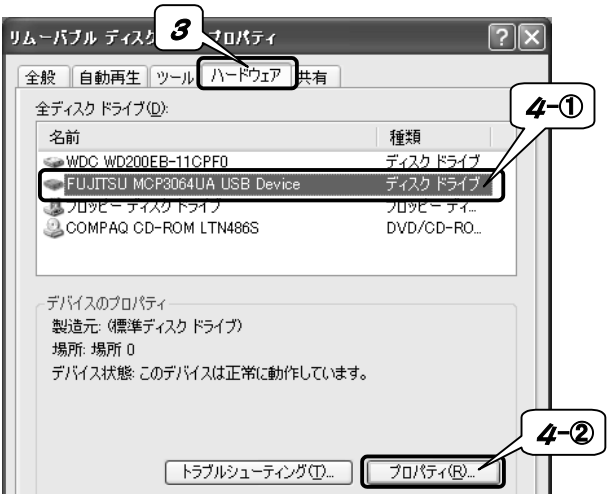
2 リムーバブルディスクのプロパティを開きます。

本製品のアイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

3 ［ハードウェア］タブをクリックします。

4 本製品を選択し、［プロパティ］ボタンをクリックします。

本製品の表示をクリックし、［プロパティ］ボタンをクリックします。



参考

本製品の表示

「FUJITSU MCx3xxxUA USB Device」と表示されます。

※ xには英数字が入ります。

上記画面内の[FUJITSU MCP3064UA USB Device]は表示例です。

5 ［ポリシー］タブをクリックします。

6 ［パフォーマンスのために最適化する］を確認します。

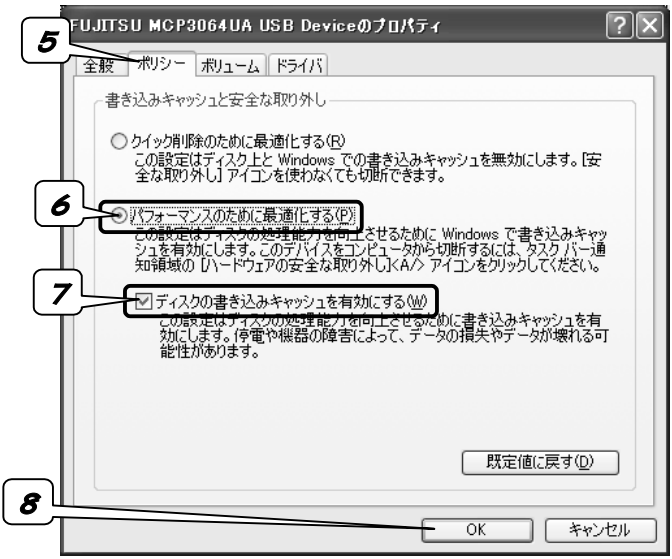
［パフォーマンスのために最適化する］が選択されていない場合、選択します。

7 「ディスクの書き込みキャッシュを有効」にします。

［ディスクの書き込みキャッシュを有効にする］にチェックが付いていることを確認します。

8 ［OK］ボタンをクリックします。

⇒本製品のプロパティが閉じられます。



9 ［OK］ボタンをクリックします。

⇒［リムーバブルディスクのプロパティ］が閉じられます。

権限変更

ここでは、Windows XP, Windows 2000で権限を変更する方法について説明します。この設定をすれば、コンピュータの管理者（Administrator）グループに属さないユーザーでもMOディスクをフォーマット／取り出しできるようになります。

Windows XP Home Editionでお使いの場合
権限変更（本作業）はできません。
コンピュータの管理者グループに属するユーザーでお使いください。

1 コンピュータの管理者（Administrator）権限でログオンします。

2 「リムーバブルメディアフォーマット／イジェクト権限変更ツール」を起動します。

［スタート］→［すべてのプログラム］（または[プログラム]）→［I-O DATA］→［MOソフトウェア］→[リムーバブルメディアフォーマット／イジェクト権限変更ツール]の順にクリックします。

3 権限を変更します。

「リムーバブルメディアフォーマット/イジェクト権限変更ツール」でフォーマット/イジェクトの権限を変更します。
終わりましたら、［変更］ボタンをクリックします。



4 ［OK］ボタンをクリックします。

⇒フォーマット/取り出しできる権限が変更されました。

ユーザー権限の場合
パソコンの電源を入れる前に、本製品の電源をONにしてパソコンに接続しておいてください。フォーマット/取り出しが正常にできなくなります。
フォーマット/取り出しができない場合は、一度コンピュータの管理者（Administrator）グループに属するユーザーでログオンしなおすか、Windowsを再起動してください。

RINGOWIN LE

「RINGOWIN LE」について説明します。

RINGOWIN LEとは？

下記のことが可能な、Windows Me/98用ソフトウェアです。
これがあれば、WindowsとMacintoshのデータを交換することができます。

・Macintoshでフォーマットされ MOディスクを読みとる
・Macintoshでフォーマットされ MOディスクに書き込む
・Macintosh形式も含めた MOディスクのフォーマット

RINGOWIN LEのインストール

本製品のサポートソフトをCD-ROMドライブに挿入し、表示されたメニューの[インストールする]→［RINGOWIN LE］ボタンをクリックしてください。



RINGOWIN LEの使い方

下のようにすると、オンラインマニュアルが表示されます。
サポートソフトのメニューにある[オンラインマニュアルを読む]→
［RINGOWIN LE オンラインマニュアル］ボタンをクリックします。
※ オンラインマニュアルは、pdf形式です。
Acrobat Readerがインストールされていない場合は、メニューから
インストールしてください。

Windows Me/98とMac OSでのデータ交換

Mac OSとWindows Me/98とでデータを交換する方法について説明しています。

データ交換の方法

MOディスクを下記の方法でフォーマットすることで、両方のOSで読み書きできるようにします。

MOディスクのフォーマット

●128～540Mバイトの MOディスク

Windowsでフォーマットした MOディスク（スーパーフロッピー形式）をお使いください。

●640Mバイトの MOディスク

Windows上で「RINGOWIN LE」を使って、「Macintoshフォーマット」でフォーマットした MOディスクをお使いください。

参考

Mac OSで頻繁に使う MOディスクは

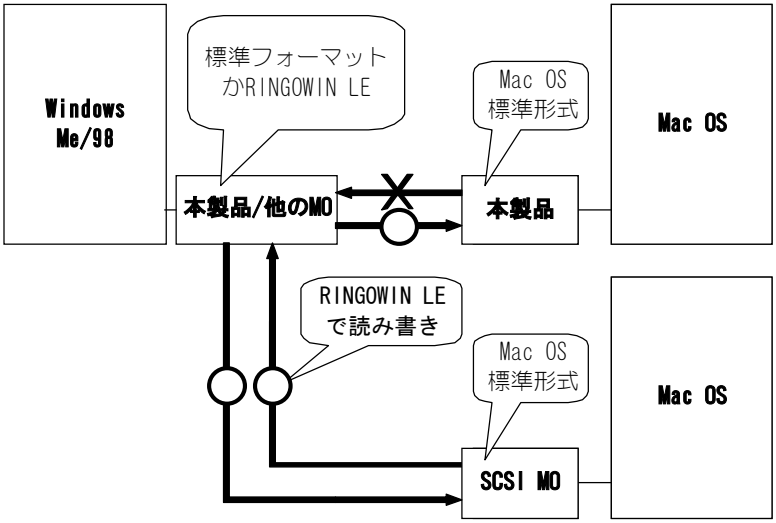
容量にかかわらず「RINGOWIN LE」を使ってフォーマットすることをおすすめします。
ただし、「Mac & Windows 混在フォーマット(RINGOWIN フォーマット)」ではお使いいただけません。

DOS形式について

Mac OSにてDOS形式の初期化を行うことはおすすめいたしません。
Windowsにてフォーマットを行ってください。

参考

●読み書き可能なフォーマット形式、MOドライブ相関表



●Mac OS上で初期化可能なフォーマット形式、相関表

		選択可能なフォーマット形式		
		Mac OS標準	Mac OS拡張	DOS
挿入したMOディスクのフォーマット形式	未フォーマット	○	○	△
	Mac OS標準	○	○	×
	Mac OS拡張	○	○	×
	スーパーフロッピー形式※	○	○	△
	FDISK形式※	×	×	△

※ File Exchangeが有効であること

参考

記号の説明
○·····可
×·····不可
△·····可だが、おすすめしない

サポートソフトの削除

サポートソフトの削除方法について説明します。

操作	
Windows XP/2000の場合	本ページ
Windows Me/98の場合	67ページ

Windows XP/2000の場合

参考

本作業をするときは･･･

コンピュータの管理者(Administrator)グループに属するユーザーでログオンしてください。

注意

本作業を行うときは、あらかじめ本製品をパソコンから取り外しておいてください。

●MOソフトウェアの削除

1 「コントロールパネル」を起動します。

Windows XPの場合

［スタート］→［コントロールパネル］をクリックします。

Windows 2000の場合

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］をクリックします。

2 追加と削除の画面を起動します。

Windows XPの場合

［プログラムの追加と削除］をクリックします。

Windows 2000の場合

［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。

3 [MOソフトウェア]を指定します。

Windows XPの場合

［MOソフトウェア］を選び、［変更と削除］ボタンをクリックします。

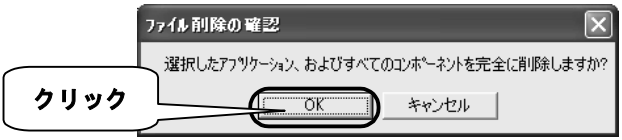
Windows 2000の場合

［MOソフトウェア］を選び、［変更/削除］ボタンをクリックします。



4 [OK] ボタンをクリックします。

⇒MOソフトウェアの削除が始まります。
あとは、画面の指示に従ってください。



以上で「MOソフトウェア」の削除は完了です。

Windows Me/98の場合

操作	
●MOシリーズ用USBドライバの削除	次ページ
●MOソフトウェアの削除	69ページ

●MOシリーズ用USBドライバの削除

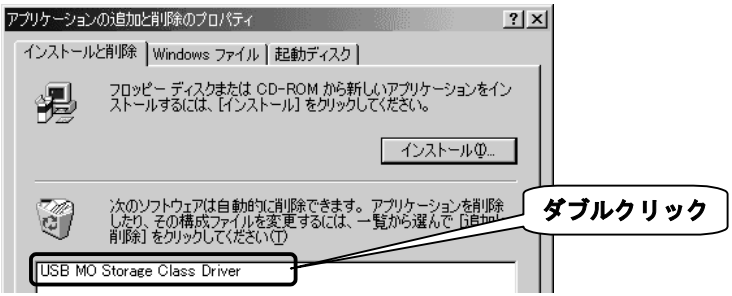
1 ［アプリケーションの追加と削除］を起動します。

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］→［アプリケーションの追加と削除］を起動します。

2 「USB MO Storage Class Driver」をダブルクリックします。

⇒MOシリーズ用USBドライバの削除が始まります。

あとは、画面の指示に従ってください。



以上で「MOシリーズ用USBドライバ」の削除は完了です。

注意

本手順後に他のUSB機器の認識が異常になる場合

認識が異常になったUSB機器のインストールをもう一度行ってください。

●MOソフトウェアの削除

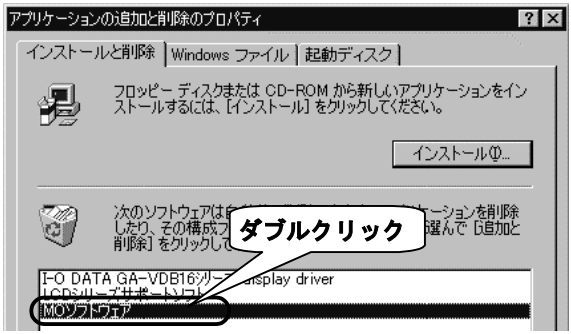
1 ［アプリケーションの追加と削除］を起動します。

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］→［アプリケーションの追加と削除］を起動します。

2 「MOソフトウェア」をダブルクリックします。

⇒MOソフトウェアの削除が始まります。

あとは、画面の指示に従ってください。



以上で「MOソフトウェア」の削除は完了です。

用語解説

USB(Universal Serial Bus)［ユーエスビー］

パソコンと周辺機器を接続する規格の１つです。接続のしやすさ、増設のしやすさなどの特徴があります。また、「USB 1.1」と「USB 2.0」の2つのバージョンがあります。

フォーマット

MOディスクを使えるようにするために必要な作業。
他に、イニシャライズや初期化などと呼ぶこともある。

仕様

製品型番	MOC-U640H
インターフェイス	USB 1.1対応
使用可能MOディスク	128/230/540/640Mバイト （オーバーライトディスク※含む）
セクタサイズ	128/230/540Mバイトの MOディスク 512バイト 640Mバイトの MOディスク 2048バイト
シークタイム（平均）	23ms
MOディスク回転数	5,455rpm
I/F転送レート	12Mbps（理論値）
バッファサイズ	2Mバイト
動作温度	+5 ～ +35℃（パソコンの動作範囲内であること）
動作湿度	20～80%（結露しないこと）
電源	DC +5.0V 2.2A
サイズ	32.0(W) × 157.5(D) × 115.0(H) mm
質量	約670g

※ オーバーライトディスクに対する書き込み速度は通常ディスクと同等になります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

お問い合わせ

1 弊社ホームページをご確認ください。

【困った時には】(48ページ)で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、News」などもご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されていますのでこちらも参考にしてください。



また、添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。



2 それでも解決できない場合は・・・

住所： 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター

電話： 本社…**076-260-3688** 東京…**03-3254-1095**
※受付時間 9:30～19:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

FAX： 本社…**076-260-3360** 東京…**03-3254-9055**

インターネット： http://www.iodata.jp/support/



お知らせいただく事項について

1. ご使用の弊社製品名。
2. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態。
（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社サポートセンターへお問い合わせください。
（【お問い合わせ】をご覧ください）

明らかに故障の場合は、下記内容を参照して本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料にて修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

製品名、ハードウェアシリアルナンバー（製品に貼付されたシールに記載されています）、送付日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中に連絡可能な電話番号,使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は、下の送付先までお送りください。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

MOC-Hシリーズ 取扱説明書
2003.Jun.2 135263-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2003 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。